

情報 ひがし労

JR東労働組合 中央本部

発行人 松下 明

編集者 情宣部

終戦から77年の夏

二度と同じ過ちを繰り返さない！

堀口真明 執行副委員長の投稿が
7月5日付の「上手新聞」に
掲載されました！

「ひめゆり平和祈念資料館」や「沖縄県平和祈念資料館」を訪れた。地上戦が行われた激戦地で、自然洞窟のガマにも入り、犠牲

幾度なく沖縄に赴き、
沖繩戦の犠牲者を哀悼し、
平和を祈る歌詞が印象深い。

ふゆの夏

へ6月23日待たず、
桃の花 散りました
長い長い 煙たなびく

ひろば欄の斎藤孝夫さん投稿「平和を願う『月桃』の歌碑」（6月28日付）を読み、『月桃』を口づかした。

ウクライナに喜びの花を

堀口真明（安中市・58）

者への思いを花束にして「魂の塔」に献花した。「真つ暗なガマや墓石の中で身を潜め、命がけの逃避行中に次々に殺されていく人々を目の当たりにした。生存者の話に、胸が詰まる思いだった。痛ましい真相に触れて、戦争という非人間的行為によつて尊い命を奪い、心身を傷つけ、自然や文化をも破壊してきたことを実感した。

この地獄絵図がウクライナで起こっている。ロシアによる侵襲から4カ月が過ぎ、市街戦により街は焦土と化し、数多くの市民や兵士が死傷している。ウクライナの大地にヒマワリ畑が広がり、色とりどりの花が咲く季節を迎える。悲しみではなく、喜びの花で覆われることを祈るばかりだ。

8月15日で終戦から77年を迎えます。武力で争いの解決は、図れませんし、憎しみしか生みません。そして、7月10日に行われた参議院議員選挙で、自民・公明両党に加え、憲法改正に前向きな日本維新の会や国民民主党の議席をあわせた「改憲勢力」は、改正を発議するのに必要な参議院全体の3分の2の議席を占めました。数の上では改憲発議の条件が整いました。岸田総理は憲法改正に強い意欲を示しています。発議にあたってはできるだけ多くの政党の支持を得られることを目指し、与野党の枠組みを超えた連携も含め様々な展開も予想されます。私たちは、あらゆる市民団体・労働組合と連帯し、広範な戦線を構築します。

憲法改正反対！反戦平和！二度と戦争を起こさない！

戦争と平和をテーマにした曲「花はどこへ行った」を歌おう！

花はどこへ行った

※野に咲く花は どこへ行った

遠い昔の物語

野に咲く花は 少女の胸に

そっと優しく 抱かれていた

可愛い少女は どこへ行った

遠い昔の物語

可愛い少女は 大人になって恋もして

ある若者に 抱かれていた

その若者は どこへ行った

遠い昔の物語

その若者は 兵隊にとられて

戦場の炎に 抱かれてしまった

その若者は どうなった

その戦場で どうなった

その若者は 死んでしまった

小さなお墓に 埋められた

小さなお墓は どうなった

長い月日が流れた

お墓のまわりに 花が咲いて

そっと優しく 抱かれていた

その咲く花は どこへ行った

遠い昔の物語

その咲く花は 少女の胸に

そっと優しく 抱かれていた

※繰り返し

ウクライナ難民支援カンパを引き続き取り組みます！

皆様のご協力をお願いします！